



WASEDA ROPE

平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業  
推進校実施報告書

- 1 学校名 : 熊本市立長嶺小学校
- 2 実施日時 : 2017 (平成 29) 年 2 月 8 日 (水)
- 3 対象 : 6 年生 (160 名)
- 4 派遣パラリンピアン : 廣瀬 誠さん (柔道 アテネパラリンピック (2004) 銀メダル 北京パラリンピック (2008) 第 7 位 ロンドンパラリンピック (2012) 第 5 位 リオデジャネイロパラリンピック (2016) 銀メダル)

5 授業内容 : 講演 + 実技

2017 (平成 29) 年 2 月 8 日 (水) に、熊本市立長嶺小学校にて、6 年生 160 名を対象とし、パラリンピックの柔道競技に 4 大会連続で (アテネ・北京・ロンドン・リオデジャネイロ) 出場し、2 つの銀メダル (アテネ・リオデジャネイロ) を獲得された廣瀬誠さんにご講演いただきました。

講演では、パラリンピックのメダルは、目が見えない人でも色の違いがわかるように、メダルを振ると金銀銅でそれぞれ異なる音が出ることを紹介されました。そして、実際に、廣瀬さんがリオデジャネイロパラリンピックで獲得した銀メダルを振って、児童たちにメダルの音を聞かせてもらいました。

廣瀬さんは、児童たちに対して、人生をより楽しいものにしていく上で大切なことを、2 点紹介されました。

1 点目は、「自分が好きなものをみつけたら、それを毎日一生懸命続けていく」ということでした。そのためには、規則正しい生活を送って、丈夫な体を手に入れること、それと同時に休むときはしっかりと休むことをすすめられました。

2 点目は、「周りの人たちに感謝の気持ちを忘れずに持つこと」でした。そのためには、「当たり前」だと思われることもすべて「有難い」ことだと考えるようにすることが大切であるといえます。

講演後の質疑応答では、多くの児童が積極的に挙手して、廣瀬さんを質問攻めにして、お話を熱心に聞いて学ぼうとする様子が窺えました。

また、講演後には、廣瀬さんによる実技の実践も行われました。廣瀬さんと柔道を習っている児童が組み合って、児童が廣瀬さんを背負い投げした際には、他の児童たちから驚きの声があがりました。その後、柔道二段の教員の方にご協力いただき、廣瀬さんの得意技である巴投げが披露されました。繊細かつダイナミックな技に会場全体から歓声が湧きおこりました。世界トップレベルの技を間近でみた児童たちは、終始興奮して、大満足の様子でした。

生徒への事後アンケートでは、「今日さわった銀メダルの感覚は忘れられないと思います」、「仲間がいなくて、たいへんだし、できないことがあると分かり、私もこれからは、こまっている人などを助けていけたらいいなあと思います」、「熊本出身の平井選手を応援したいと思った」、「しょうがいをもって人は運動ができないと思っていたけど、廣瀬さんのお話を聞いてイメージがかわりました」、「何事

もあたりまえと思わずに、今学校に行くことができるのも、私が好きなダンスができるのも『ありがとう』なんだなぁと改めて実感しました」、「パラリンピックをみてみたい」といった記述が多々みられ、廣瀬さんのお話が児童たちの心に響いている様子が窺えました。

## 6 授業の様子



入場する廣瀬さん



廣瀬さんの講演を聴くご家族



実技実践にて廣瀬さんに背負い投げをかける児童



廣瀬さんの得意技巴投げの披露



集合写真